

研究利用管理番号

22005

研究内容の説明文

臍帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	臍帯血由来 NKT 細胞の iPS 化 (臍帯血由来 NKT 細胞の iPS 化、造血・免疫系ヒト化マウスを用いたヒト iPS 由来 NKT 細胞機能の解析および iPS-NKT 細胞の臨床研究)
研究期間	2023 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日
研究機関名	国立研究開発法人理化学研究所
研究責任者職氏名	古関明彦

研究の説明

1 臍帯血・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供される場合はその方法を含む。）

理研では、人工多能性幹細胞（iPS 細胞）という、無限に増やすことが出来てどんな細胞にもなることが出来る細胞を利用して、がん治療に用いる免疫細胞を作り出す研究を行っています。この研究では、ヒト血液中の免疫細胞から一度 iPS 細胞を作製し、これを増やした後に元の免疫細胞に戻すことにより、目的の免疫細胞を必要なだけ作ることを目標としています。これまでの研究で、臨床試験に使用できる程度の免疫細胞を作る事には成功していますが、一般的に使用できるほどの量を安定して作るためには、まだ多くの研究が必要です。

そこで、この研究に用いる新規な iPS 細胞を取得するため、臍帯血を使いたいと考えています。ご提供いただいた臍帯血は、免疫細胞の一種であるナチュラルキラーT 細胞（NKT 細胞）を取り分け、この NKT 細胞を iPS 細胞に変化させます。またこの iPS 細胞を増やしたのちに NKT 細胞に戻すことにより、大量の NKT 細胞を作製します。ご提供いただいた臍帯血は、理研内のみで使用され、他の研究機関や企業等に提供される事はありません。また、臨床試験等に使用される事ありません。

2 さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目

試料：未凍結さい帯血

既存凍結臍帯血

情報：単核細胞数、血液検査測定値

3 利用する者の範囲

研究機関の名称：国立研究開発法人理化学研究所

研究代表者：古関明彦

- 4 臍帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、臍帯血提供者が識別される臍帯血・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること
- 一旦同意した場合でも、不利益をこうむることなくいつでも同意を撤回することができます。その場合、提供していただいた試料等や研究の結果などは廃棄され、それ以降は研究目的に用いられることはありません。
- ただし、同意を取り消した時点ですでに研究結果が論文などで公表されていた場合のように、研究結果を廃棄することができない場合があります。また、同意撤回の申し出をされた時点ですでに iPS 細胞が樹立されていた場合は、引き続き使わせて頂くことがあります。もちろんこのような場合でも、個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。
- 5 4の臍帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法
- 一般社団法人中部さい帯血バンクにお申し出ください。

本研究に関する問合せ先

所属	国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 免疫器官形成研究チーム
担当者	深澤富長
住所	神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22
電話	045-503-7059
Mail	tominaga.fukazawa@riken.jp